

様式1-1 キャリア・プランシート(就業経験がある方用)

令和 × 年 × 月 × 日現在

ふりがな	にっぽん たらう	生年月日	昭和 50 年 8 月 10 日
氏名	日本 太郎		
ふりがな	〇〇けん△△しちゅうおうちよう1ちようめ1ばんち	電話	090 - 1234 - 5678
連絡先	〒 111 - 2222 〇〇県△△市中央町1-1	メールアドレス	*****@*****

価値観、興味、関心事項等

(大切にしたい価値観、興味・関心を持っていることなどを記入)

1. 高校時代、職業経験実習で、知的障害児の方の施設見学・研修を経験した。ほぼ同世代の利用者の様子と同時に若い支援員の方々の姿を見た事から、「人のために働く現場」を実感した。福祉系大学に方向を決めた事の一因となっている
2. 世の中には、モノがあふれ、モノを作ることやデザインすることにあこがれもあったが、私は、「人」に対する、役に立つ仕事をする事、そのために自分も学習して結果的に自分も成長できる仕事を続けていきたいと思っている。福祉学科では、履修科目が多く辞易したが、現在目指している職種の基礎にはなっている。将来のある児童や若年者と、より近い世代の感覚での支援業務を継続していくこと、そのためにこれからも学習、訓練を粘り強く継続していきたい。
3. この仕事は、自身のメンタルの健康、平常心が欠かせないため、趣味で続けているピアノは、業務を離れ、地域での趣味の集まり「コミュニティの場であり、大事にしていきたい。

強み等

(自分の強み、弱みを克服するために努力していることなどを記入)

1. 方向や計画を決めるまで迷いが多いが、一度決めた事は、粘り強く続ける持続力がある。社会人になり、事務仕事も、単調な仕事であったが、短期PC講習で、一通りのスキルを身に着けるまで続けられた。福祉関係の仕事は、メンタルきつい面も多いが、辞めようと思った事はない。
2. 気分転換が早い。現在の支援・相談業務でも、まだ失敗が多いが、気持ちを切り替えて取り組める。あまり、自分を責めすぎない性格。
3. やや理想を追いすぎるきらいがある。利用者の方に、こうなってほしいという自分の気持ちが出すぎる事がある。熱心さの反動かとも思うが。

将来取り組みたい仕事や働き方等

(今後やってみたい仕事(職種)や働き方、仕事で達成したいことなどを記入)

勤務する社会福祉施設は障がい者福祉施設の他、老人福祉施設などいくつかの施設を運営しており、各施設間の共通の課題も多い。それらの課題を共有し、法人として入居者各位の生活の質をどのように高めていくかということを考えていきたい。
各施設単独では限りがあるので横断的なチームを立ち上げ、自治体等とも連携して進めていきたいと考えている。

これから取り組むこと等

(今後向上・習得すべき職業能力や、その方法などを記入)

認定介護福祉士の資格取得を目指す

その他

(以上から、自己PRやキャリアコンサルティングで相談したいことなどを自由記入)

様式2 職務経歴シート

氏名 日本 太郎

令和 × 年 × 月 ×× 日現在

職務経歴			
No.	期間(年月～年月) (何年何ヶ月)	職務の内容	職務の中で学んだこと、 得られた知識・技能等
	会社名・所属・ 職名(雇用形態)		
1	平成 10 年 4 月 ～ 平成 17 年 3 月 (7 年 ヶ月)	老人主体の病院で他の医療機関との連携や他の福祉施設との連携業務、相談業務等を担当した。	大学でひと通りの知識は学んだが、実務は解らないことばかりだった。医療機関同士のコミュニケーションルール、福祉施設とのコミュニケーションルール等先輩に一つ一つ教わりながら覚えていった。相談業務も多岐にわたるためそれぞれの連携部門や機関等の意志疎通が欠かせなかった
	〇〇病院 ソーシャルワーカー 正社員 ()		
2	平成 17 年 7 月 ～ 令和 2 年 月 (17 年 ヶ月)	より介護の現場に近い所での仕事がしたく病院から社会福祉法人が運営する障がい者福祉施設に転職した。	入所されている方それぞれに背負われている障がいは同じではない。同じような症状であっても心理負担はそれぞれ違う。ご家族との関係も同じではない。それらのことを理解して接していかなければ信頼は得られないということを学びました。
	社会福祉法人××会 〇〇ホーム(現職) 支援援助員 正社員 ()		
3	年 月 ～ 年 月 (年 ヶ月)		
	()		
4	年 月 ～ 年 月 (年 ヶ月)		
	()		
5	年 月 ～ 年 月 (年 ヶ月)		
	()		
6	年 月 ～ 年 月 (年 ヶ月)		
	()		

様式3-1 職業能力証明(免許・資格)シート

氏名	日本 太郎
----	-------

No.	免許・資格の名称	免許・資格の実施・ 認定機関の名称	免許・資格の内容等
	取得時期		
1	普通自動車免許 平成 7 年 8 月	〇〇県公安委員会	
2	社会福祉士 平成 10 年 3 月	厚生労働大臣	高齢者をはじめ、身体や精神に障害がある方、日常生活を営むのが困難な方など、福祉サービスを必要とする方の相談に応じ、助言や援助をする仕事
3	実務者研修 平成 21 年 12 月	〇〇ケアスクール	
4	介護福祉士 平成 27 年 12 月	厚生労働大臣	
5	年 月		

(注意事項)

- 1 「免許・資格の内容等」欄には、必要に応じて、免許・資格付与の基準・目安等も記入(又は添付)してください。
- 2 原則として、本シートを生涯にわたって活用していく中で、免許・資格の取得の都度、証明する書類等(写本)の添付を可能な範囲で行ってください。また、応募書類とする場合は、応募先の業務で必要な資格等の書類等(写本)を添付する等、可能な範囲で必要に応じて書類等(写本)の添付を行ってください。なお、キャリア・プランニング時には必ずしも必要ありません。
- 3 記入しきれないときは、適宜枠の数を増やす等により記入してください。
- 4 本シートは、電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをもって作成することができます。
- 5 必要があるときは、各欄を区分し、または各欄に所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができます。

様式3-2 職業能力証明(学習歴・訓練歴)シート

氏名	日本 太郎
----	-------

No.	期間	教育・訓練機関名	内容等
		学科(コース)名	
1	平成 3 年 4 月 ～	〇〇高校	高校教育課程修了。職業体験学習（障害児施設）
	平成 6 年 3 月	普通科	
2	平成 6 年 4 月 ～	〇〇大学	保育学・児童学・人間科学・福祉学 等 基礎科目は履修
	平成 10 年 3 月	社会福祉学科	
3	年 月 ～		
	年 月		
4	年 月 ～		
	年 月		

(注意事項)

- 1 原則として、中学校卒業以降の学校、教育訓練機関での学習歴を記入してください。
- 2 「内容等」の欄には、教育・訓練の内容とともに、学んだこと・得られたことも記入します。
- 3 教育・訓練を修了した都度、証明する書類等(写本)の添付を可能な範囲で行ってください。
また、応募書類とする場合は、応募先の業務に必要な修了証等の書類(写本)を添付する等、可能な範囲で必要に応じて書類等(写本)の添付を行ってください。なお、キャリア・プランニング時には必ずしも必要ありません。